ラムサール条約と渡良瀬遊水地

時　期	いつでも
時　間	5時間
場　所	教室，渡良瀬遊水地

○ワークシートを活用して，湿地の役割と価値，およびラムサール条約の内容について理解する。
○現地調査等の調べ学習とその後の話し合いを通して，渡良瀬遊水地の価値について考える。
○渡良瀬遊水地の環境を保全するための具体策やワイズユース（湿地の恵みを賢く使うこと）について考える。

ねらい

・湿地の役割と価値やラムサール条約の内容を理解させる。
・湿地とラムサール条約に関する資料や現地調査で調べたことを活用して，渡良瀬遊水地の環境を保全するための具体策やワイズユースについて考えさせる。
・渡良瀬遊水地の価値や環境保全について意欲的に学習しようとする態度を育てる。

教科に見る活用場面

・中学校	社会（公民的分野）	「公害の防止と環境保全」「地球環境問題」「地方財政」「企業」「国際連合」
・中学校	理科（第３学年）	「自然と人間」
・高等学校	公民（現代社会）	「環境保全」「共に生きる社会」
・高等学校	理科（科学と人間社会）	「生命の科学」「これからの科学と人間生活」

活動の内容

(1) ワークシート①を用いて，湿地の役割と価値，およびラムサール条約の内容について理解する。
(2) ワークシート②を用いて，渡良瀬遊水地について調べる。（２時間）
(3) 調べたことをもとに渡良瀬遊水地の価値について話し合い，ワークシート②にまとめる。
(4) ワークシート③を用いて，渡良瀬遊水地の環境保全のための具体策やワイズユースについて考え，話し合う。

準備するもの
・現地調査をする場合は動きやすい服装　・雨具　・飲料水

利根川上流河川事務所より提供

渡良瀬遊水地の様子
（一財）渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団Webサイトより

活用ガイド

○指導上の工夫・留意点

・渡良瀬遊水地について調べる活動では，現地調査に行く時間を確保することが望ましい。

・ワークシート①では，ワークシートの問いに答える作業を通して，湿地の役割と価値，および，ラムサール条約の内容について理解させたい。ラムサール条約第１条１において，「湿地とは，天然のものであるか人工のものであるか，永続的なものであるか一時的なものであるかを問わず，更には水が滞っているか流れているか，淡水であるか汽水であるか鹹（かん）水（すい）（海水）であるかを問わず，沼沢地，湿原，泥炭地又は水域をいい，低潮時における水深が６メートルを超えない海域を含む。」と定義されている。ワークシート①の設問１（１）では，「ラムサール条約においては，ここに提示されている地形の全部が湿地と定義されている」ということを示し，一口に湿地と言っても多様な地形を含むということを捉えさせたい。また，設問１（２）（３）を通して，湿地には多様な価値があることに気付かせたい。設問１（２）では，例えば「美しい景観」が「生活」と「観光，レクリエーション」の二つの枠に分類できるなど，一つの事柄が二つ以上に分類できると考える生徒もいるであろう。どこに分類されるか考えさせ，湿地の価値に気付かせることが目的であるので，そのような場合は生徒の多様な考えを認めたい。

・ワークシート②では，「渡良瀬遊水地のここがすごい」を考え話し合わせることで，渡良瀬遊水地の価値について気付かせるとともに，自然環境を大切にしようとする態度を育成したい。

・ワークシート③では，渡良瀬遊水地をワイズユースする具体的な方法を，「国や地方公共団体」「企業，ビジネス」「私たち個人」の三つの視点から考えさせることで，渡良瀬遊水地の賢い活用法に関する生徒の多様な考えを引き出したい。

・関連プログラムとして，「奥日光の自然を知ろう」（p.29）がある。

○参考資料

・渡良瀬遊水地湿地資料館にて，渡良瀬遊水地の無料ガイドマップを配付しているので，調べ学習の際には参照されたい。

・栃木農業高等学校では，「元気あふれる故郷づくりを目指した農高生の地域おこしプロジェクト活動」として，渡良瀬遊水地のヨシを活用した実践を行っている（地域農家と協力してのヨシズ生産，ヨシを活用して作った「環境にやさしいヨシ堆肥」3000袋製品化など）。これは平成17年から，地元のヨシズ農家と連携してヨシ産業を活性化させることにより，農業の振興や環境保全を図るとともに，日本各地に向けて情報を発信する，という活動である。県内で高校生が行っているワイズユースの好例として，生徒に紹介できる。

○協力が得られる機関

・渡良瀬遊水地湿地資料館　　TEL0282-62-5558

・体験活動センター「わたらせ」　TEL080-8818-9381

○ワークシートの解答

ワークシート①　１（１）全部（２）省略（３）省略　　２（１）B（２）B，D，E（３）C，E（４）C
（５）渡良瀬遊水地

○発展学習

ワークシート③で，生徒からワイズユースに向けての具体案が出されたら，発展学習としてそれを実行させたい。（例：渡良瀬遊水地のゴミ拾い活動，環境整備，ポスター作りによる啓蒙活動など）

○活動にあたって参考となる文献やＷｅｂサイト

・「ラムサール条約と条約湿地」環境省　http://www.env.go.jp/nature/ramsar/conv/

・「外務省：ラムサール条約」　外務省　http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kankyo/jyoyaku/rmsl.html

・（一財）渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団　http:// watarase.or.jp/

①湿地って何だ？ラムサール条約って何だ？

実 施 日	年　月　日（　）	年　組　番	氏 名	

1　湿地について答えよう。

（1）次のうち湿地に分類されるのはどれか。湿地に分類されると思うものに〇をつけよう。

湿原（　）　田んぼ（　）　ため池　（　）　湖　（　）　わき水（　）
水路（　）　干潟　（　）　カルスト台地（　）　鍾乳洞　（　）
マングローブ林　（　）　藻場　（　）　サンゴ礁（　）

（2）次の＜湿地に関係のあることがら＞を，下の表を用いて四つに分類しよう。

＜湿地に関係のあることがら＞

コンブ漁　洪水を防ぐ　稲作　ウニ漁　バードウォッチング　美しい景観
潮干狩り　希少な水生植物　きれいな水の供給　スキューバダイビング
フライフィッシング　貝（シジミ，アサリ，カキなど）の養殖　ハイキング
絶滅危惧種　おいしい空気　多様な生物

生活	産業	観光，レクリエーション	科学，環境

（3）もし，世界から湿地がなくなってしまったらどうなると思うか。自分の考えを書こう。

2　ラムサール条約について問題に答えよう。

（1）ラムサール条約とは，環境保全の観点から，世界の（　　）を守り，適正に利用することを目的とした条約である。１９７１年にイランの都市ラムサールでの国際会議で採択された。（　）に当てはまるのは次のうちどれか。

＜　A　砂漠　B　湿地　C　森林　＞

（2）ラムサール条約の基本理念は（　　），（　　），（　　）の三つである。（　）に当てはまる語句を，次から三つ選びなさい。

＜　A　温暖化　B　ワイズユース　C　自然エネルギー　D　交流・学習　E　保全と再生　F　南北問題　＞

（3）締約国の数は（　　）か国，登録湿地の数は（　　）か所に及ぶ。（　）に当てはまる数は次のうちどれか。

＜　A　約１０　B　約５０　C　約１７０　D　約１０００　E　約２０００　＞

（4）日本は１９８０年に条約に加入し，２０１２年現在，日本国内の登録湿地は（　　）か所ある。（　）に当てはまる数は次のうちどれか。

＜　A　１５　B　２６　C　４６　＞

（5）栃木県内には奥日光の湿原と（　　）の２か所の登録湿地がある。（　）に当てはまる語句を答えなさい。

ワークシート

②すごいぞ渡良瀬遊水地

実 施 日	年　月　日（　）	年　組　番	氏 名	

1　渡良瀬遊水地について調べよう。

（1）どんな方法で調べますか。○をつけよう。

＜　現地調査　　インターネット　　文献　　その他（　　）　＞

（2）調べて分かったこと，気付いたこと，思ったことを書こう。

2　調べたことをもとにグループや学級で話し合い，「渡良瀬遊水地のここがすごい」を３点にまとめよう。

ワークシート

とちぎ

③ワイズユース～渡良瀬遊水地の賢い活用法～

実 施 日	年　月　日（　）	年　組　番	氏 名	

○ワイズユース（賢く活用すること）とは？

湿地は，私たちの身近にあり，人間の生活環境や社会活動と深い関わりをもっています。このため，ラムサール条約では，人間の行為を厳しく規制して湿地を守っていくのではなく，湿地生態系の機能や湿地から得られる恵みを維持しながら，私たちの暮らしと心がより豊かになるように湿地を活用する「ワイズユース」を謳（うた）っています。「ワイズユース」は，健康で心豊かな暮らしや産業などの社会経済活動とのバランスがとれた湿地の保全を推進し，子孫に湿地の恵みを受け継いでいくためのとても重要な考え方なのです。（環境省の Web サイトより）

○渡良瀬遊水地をワイズユースし，環境も守られ地域住民もさらに幸せになれる方法を考えよう。その際，「国や地方公共団体」「企業，ビジネス」「個人」の三つの視点で考えよう。

＜国や地方公共団体にできること＞
＜企業やビジネスの面からできること＞
＜個人にできること（私たちにできること，私にできること）＞